

教育広報

県北の教育

発行所

福島県教育庁県北教育事務所
福島市杉妻町5-75
電話 024-521-7723

発行者

村越秀樹

印刷所

(有) 吾妻印刷

「教育は人なり」



県北教育事務所次長

二瓶 哲

「いらっしゃいませ。お客様、何名様ですか。お煙草はお吸いになりますか。」レストランなどに入ると、必ず案内係にこのような言葉をかけられる。私は、相手の様子をよく見もせず発せられる機械的な台詞（せりふ）を耳障りに感じた時期があった。しかし、案内係はその店の業務マニュアルに基づいて話しているだけである。レストランには、案内係の接客の仕方だけでなく、注文の取り方、清算の仕方の際の言葉や態度が決められているマニュアルがあると聞く。さらに、料理もメニューによって焼いたりゆでたりする時間やその順序や方法もこと細かく定められているそうである。このマニュアルは、正社員だけでなくアルバイト員であってもそれを厳守することが求められるものであると聞く。このようなマニュアルには、経営するどの店舗でも同じサービスの提供を目指して、客に対する接待や料理の質を維持し、業務の効率化を図ろうとする「会社の目的」がはっきり感じられる。

では、学校現場にもこのような「学校の目的」を目指したマニュアルはあるのだろうか。たしかに、全国の教育水準を一定に保持するために、指導内容は学習指導要領に、教職員の職務については、学校教育法等に定められている。また、各学校では、教育目標の達成に向けての運営ビジョンや各活動の経営計画が作成されている。しかし、その実践における細かい運営方法は、教職員の一人一人（担当や担任）の創意工夫に委ねられている。レストランのマニュアルのような機械的な話し方や接し方は学校にはなじまない。よって、運営方法は、先輩や同僚のやり方を参考にすることも、最終的には自分自身で編み出していかなければならない。自分なりの方法が必要である。

現在、学校を取りまく環境は大変厳しいものがある。問題を抱える子どもや多様な価値観をもつ保護者への対応がもとで、心の病をもつ教職員が全国的に増加傾向にあるという報道もある。

このような状況の中、一つの方法だけで様々な子どもに対応してはいないだろうか。常に目の前の子どもに沿った自分なりの方法を考え、それをより質の高いものに改善することを通して、教職員としての幅を広げていくことが大切である。教職員一人一人が「教育は人なり」という言葉をかみしめ、情熱と自信をもって教育活動に当たってほしい。

もうすぐ、新年度が始まる。新しい子どもたちが待っている。



平成20年度指導の重点全体構想

うつくしま教育改革推進プログラム
～ふくしまの教育7つの約束～

「つなぎ」「伸ばし」「かなえる」県北の教育

～幼・小・中・高の連携～

子どもたち一人一人の“夢”の実現

家庭との連携

地域との連携

■ 幼小中高連携の成果

校種	取組の効果がかなり認められる		取組の効果はある程度認められる	
	18年度	19年度	18年度	19年度
幼	5校(7%)	12校(17%)	58校(84%)	47校(68%)
小	13校(11%)	21校(17%)	100校(83%)	99校(82%)
中	7校(17%)	15校(36%)	32校(76%)	27校(64%)
高	0校(0%)	0校(0%)	9校(50%)	12校(67%)

「取組の効果がかなり認められる」と「取組の効果はある程度認められる」を合わせると、幼稚園が85%（昨年度比-6ポイント）、小学校99%（昨年度比+5ポイント）、中学校100%（昨年度比+7ポイント）、高校67%（+17ポイント）である。全体として取組の効果を認める学校が増加している。今後は内容連携の深化と行動連携の方途を探っていく必要がある。（県北域内幼小中高連携推進協議会のアンケート調査結果より）

「確かな学力」の向上

- ◎ 「確かな学力」の向上を目指すグランドデザインの改善
 - ◇ PDCAを踏まえた柔軟かつ具体的な指標設定
 - ◇ 習熟の程度を踏まえた「発展的・補足的な学習」の設定
- ◎ 「確かな学力」の向上を支える基盤（環境）づくり
 - ◇ 発達段階に応じた聞き方や話し合いの仕方の指導
 - ◇ “わかるサイクル（予習、授業、復習）”の習慣化
 - ・ 家庭学習への計画的な取組
 - ・ 豊かな読書活動の工夫
 - ◆ 幼児の主体的な活動を促す計画的な環境構成
- ◎ 「確かな学力」の向上を目指す授業（保育）の充実
 - ◇ 授業改善に生かしたいポイント
 - 1 子どもの実態を踏まえた指導内容の重点化
 - 2 子どもにとって必然性のある課題設定と把握のさせ方の工夫
 - 3 子どもに自分の考えをしっかりとめさせる場の設定
 - 4 集団（小集団）での学び合いの重視
 - 5 子どもの学びを活かしたまとめの工夫
 - ◇ 互いに磨き、高め合う温かな集団づくりへの配慮
 - ◇ 読解力の向上を図るための指導方法の工夫
 - ◆ 「言葉をよく聞き、言葉で表現する」指導の重視
- ◎ 「確かな学力」の向上のための校内研修の充実
 - ◇ 子どもの姿に即した教師相互の学び合い
 - ◇ 基礎的な指導力（発問、板書、ノート指導、意図的指名等）の向上
 - ◆ 幼稚園教諭の専門性の向上

《幼・小・中・高の連携事項》

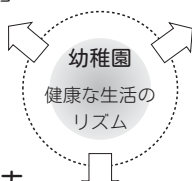
- 1 学習習慣の育成
- 2 学び合いの重視
- 3 校内研修の充実

- 1 基本的生活習慣の育成
- 2 生命尊重・規範意識・忍耐力の育成
- 3 人と関わる力の育成

- 1 体力の向上
- 2 健康の増進
- 3 危険から身を守る能力の育成

体力の向上と心身の健康の保持増進

- ◎ 体力向上に関する指導の工夫
 - ◇ 「体力づくり推進計画」の改善
 - ◇ 「忍耐力」、「向上心」が伴った体力向上
- ◎ 安全に関する指導の工夫
 - ◇ 「学校安全計画」の作成
 - ◇ 「ライフスキル」、「危険回避能力」の育成（不審者侵入、声かけ事案、薬物乱用、生活習慣病、出会い系サイト等への対応）
- ◎ 健康に関する指導の工夫
 - ◇ 「食育」、「性教育」の充実
 - ◇ 学校保健委員会の活性化



豊かな人間性・社会性の育成

「信頼関係に基づいた、温かな人間関係の醸成」
～キャリア教育の視点を生かした取組の充実～

道徳教育の充実

- ◎ 「道徳の時間」の確実な実施と充実
 - ◇ 資料準備、週時程への位置付け
 - ◇ 中心発問の吟味
 - ◇ 本音で話し合う場の設定
 - ◇ 保護者や地域の人々の参加（“開かれた道徳の時間”の実施）
- ◎ 公民科やホームルーム活動を中心とした実践（高等学校）

特別活動の充実

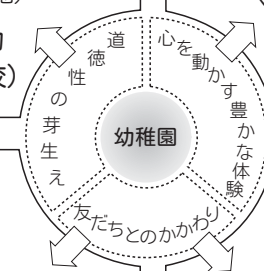
- ◎ 望ましい集団づくりの充実
 - ◇ 自治的・自発的な活動のための話し合い活動
 - ◇ 自己実現を図るための進路指導
 - ◇ 役割分担の明確化と責任遂行への指導
 - ◇ 自然体験や社会体験を通じた地域等との交流

生徒指導の充実

- ◎ 「心の居場所」としての学校づくり
- ◎ 不登校の早期改善
 - ◇ 資料「不登校への対応について」等の活用
- ◎ いじめの未然防止と迅速な対応
 - ◇ 「いじめ根絶チーム」の実効ある活動
 - ◇ 迅速な事実関係の究明と対応
- ◎ 虐待の早期発見と関係機関との連携
 - ◇ 「発見のためのチェックリスト」による早期発見・通告
- ◎ 問題行動の未然防止と的確な対応
 - ◇ 家庭、地域社会及び近隣校や関係機関との実効ある連携

特別支援教育の充実

- ◎ 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実
 - ◇ 「個別の指導計画」の作成と活用
 - ◇ 組織的な支援体制に基づく実践
- ◎ 子ども、家庭、地域等との支援体制づくり
 - ◇ 正しい理解の場の設定
 - ◇ 医療、福祉関係機関との連携



福島県教職員研究論文入賞者紹介



福島市立福島第一小学校 教諭 菅野 望
【入選】理科
～生物への愛情と共感を育む総合的な学習の時間と理科のクロスカリキュラム～



福島市立水原小学校 教諭 吉川 武彦
【入選】音楽
～音楽の楽しさや美しさにあこがれ、互いのよさや違いを認めながら、音楽的感性を磨き合う子どもの育成～



福島市立蓬萊東小学校 教諭 渡邊 裕樹
【入選】道徳
～自他のよさに気付き、よりよく生きようとする子どもの育成～



福島市立東湯野小学校 教諭 藤田 穰
【奨励賞】社会
～考える力を育成する社会科授業の実践研究～

県北域内の応募状況

小学校...18点

国語	社会	算数	理科	生活	音楽	道徳	特別活動	生活総合	特別支援
3	3	3	2	1	1	1	1	1	2

生涯学習課

～学校・家庭・地域のよりよい連携をめざして～

「十七字のふれあい」「中・高生のための体験活動推進事業」「父と母の学びと育ち支援事業」など多くの事業にご参加をいただきましてありがとうございました。次年度もよりよい企画をし、学習機会や体験活動等の提供に努めて参りますので、児童生徒、保護者、教員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

また、県北においては163名の方が、学習支援、病院訪問、ノートテイクボランティアとして登録されております。県北地域センター（県北教育事務所）でコーディネートいたしますのでお気軽にお電話ください。

ぜひ、積極的にご活用ください。

(生涯学習課) 024-521-7715



教育・文化関係表彰受賞者紹介

<児童生徒の部（団体）>



福島市立吉井田小学校
マーチングバンド部
第35回マーチングバンド・パトントワリング全国大会「小学生の部マーチングバンド部門」で金賞を受賞した。

<優秀教職員の部>

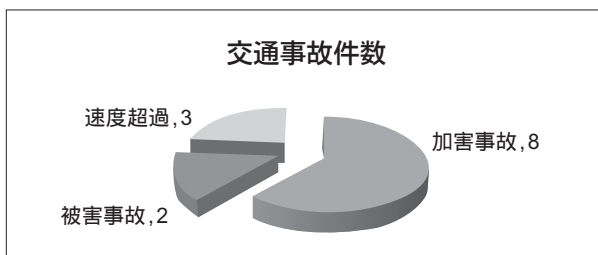


福島市立三河台小学校 教諭 菅野 実
同校の平成14、15年度のソニー科学教育研究論文最高賞受賞や、今年度の優秀プロジェクト校受賞の原動力となるなど、理科教育の推進に優れた指導力を発揮している。

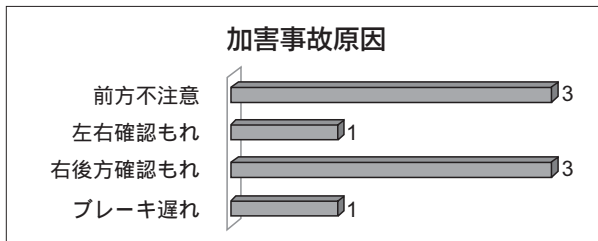
管理課

見ているようで見ていない！

下の図は、4月から12月1日現在まで、県北域内で発生した交通事故（13件）を種別毎にまとめたものです。



加害事故は8件発生しています。加害事故の原因については、下記のようになっています。



事故原因から分かるように、ほとんどの事故が、前方不注意などの確認不足によるものです。「事故ゼロ」を目指し、より一層の安全確認の取り組みをお願いします。

インフォメーション

今年度、独立行政法人科学技術振興機構よりデジタル機器購入の支援を受け、次の機器を購入しました。

- モバイルパソコン
- 液晶プロジェクター
- ハイビジョン顕微鏡撮影セット
- デジタルビデオカメラ
- Webカメラ



学校に貸し出すことが可能です。授業や校内研修等にご利用下さい。希望の際は下記までご連絡ください。

県北教育事務所（指導課）
電話 024-521-7723